

全国



第 2232 号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和5年 6月25日
(2023年)毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-4-2

代表 TEL 03 (3262) 5234

旬報 TEL 03 (3262) 5237

発行人 橋本 嘉一

<https://www.si-gichokai.jp>

議長会HP

第99回 全国市議会議長会定期総会

地方自治法改正
活力ある地方議会実現を

第99回定期総会開く

地方議会の活性化策が各地域で展開されることを期待している」と述べた。次いで、細田博之衆議院議長、松本剛明総務大臣から祝辞を賜り、尾辻秀久参議院議長、岡田直樹デジタル田園都市国家構想担当・地方創生担当大臣から贈られたメッセージが披露された。

総会では、この日任期満了を迎えた清水会長が退任し、坊恭寿神戸市会議長が第65代会長に選任された。副会長以下の役員交代もあり、坊会長の下、新たな顔ぶれで令和5年度の活動が始動した。

当日は、地方9部会の提出議案27件と会長提出議案5件を審議し、いずれも満場一致で可決した。

本会は6月14日、第99回定期総会を東京国際フォーラムで開催。全国の市区議会議長645人が出席した。開会あいさつに立った清水富雄会長（横浜市会議長）は、地方自治体の安定的な財政運営に必要となる地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保が不可欠であると強調するとともに、本会が長年にわたり求めてきた地方議会の位置付けの明文化等を盛り込んだ地方自治法の改正案が今国会で成立したことを契機に、活力ある地方議会の実現に向けてさらに取り組んでいくと述べた。

来賓として出席した岸田文雄内閣総理大臣は、本年4月に改正された地方自治法について触れ、「今後、

坊 恭寿会長 就任あいさつ



〔略歴〕

坊 恭寿(ほう・やすなが)
昭和42年3月15日(56歳)
佛教大学文学部卒業。平成
15年6月神戸市議員に初
当選以来連続6期。令和3年
6月～令和4年6月、第103
代神戸市議長、令和5年5
月、第105代神戸市議長
就任

全国9地方部会全ての総意として、ご推挙を賜り、皆様方の全会一致のご賛同により、第65代全国市議会議長会会長に選任をいただきました、神戸市議長の坊恭寿でございます。

全国の815市区が加入いたします、歴史と伝統ある全国市議会議長会の会長にご推挙いただき、皆様方に厚く御礼を申し上げます。

大きな功績を残されました歴代会長さんの後を受け、その責任の重大さを感じているところでございます。

清水前会長におかれましては、在職された2年間、最も重要な地方財政対策において、令和4年度及び5年度ともに、一般財源総額が前年度を上回る規模で確保することができました。

また、昨年12月、続いて本年4月と、地方自治法が二度にわたり改正され、議員個人による請負規制の緩和、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化など、積年の課題に目途を付けられました。

地方自治並びに本会の発展に向け、大いにご活躍されたところであり、深く敬意と感謝を申し上げます。

後を引き継ぐ私といたしましても、活力ある地方議会の創出をはじめ、議員のなり手不足解消や議会への関心を高める方策、さらには、地方税財源の充実確保、人口減少・少子高齢化への対応、地域のデジタル化、社会保障の充実、防災・減災対策の推進などの諸課題に、全力を傾注して取り組んでまいり所存であります。

皆様方のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



清水会長(横浜市)

清水富雄会長(横浜市会
議長)の開会あいさつ、来
賓あいさつ(5～7面)
前日13日に役員選考委
員会が開催されており、
赤間次彦役員選考委員長
(仙台市議会議長)から
選考結果として次期会長
候補者に坊恭寿(ほう・や
すなが)神戸市議長を
推薦する旨、報告があり、

満場一致で坊恭寿氏を第
65代会長に選任した。任
期は2年間。

赤間選考委員長
(仙台市)

第65代会長

坊 恭寿 神戸市議長を選任

第231回 理事会

定期総会の運営を了承

令和6年度 都市問題特委テーマ

「社会的な孤独・孤立に関する諸問題」

理事会では、翌日に開催の第99回定期総会の運営及び会長提出議案について協議し、いずれも了承された。
また令和6年度の「都市問題に関する特別委員会」の研究テーマを「社会的な孤独・孤立に関する諸問題」とすることを決めた。



清水会長(横浜市)

定期総
会に先
立ち、
6月
13日
に開
かれた
第
231
回



理事会の様様

清水富雄前会長 退任あいさつ



会長退任に当たり、ご挨拶を申し上げます。
私は、令和3年5月26日開催の第97回定期総会におきまして、本会の第64代会長にご選任いただき、以後2年間にわたり、会長として活動してまいりました。

私が会長に就任した時は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施されており、まさに新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている真っ最中でありました。

以来、本会の重要な会議も書面やオンラインでの開催を余儀なくされましたが、昨年5月の定期総会は3年ぶりに対面で開催することができ、徐々に正常化してまいりました。

厳しい経済社会情勢が続く中、地域経済の再生をはじめ、様々な行政需要に適切に対応するためには、何よりも安定的な税財政基盤の確立が不可欠であり、令和4年度、5年度の地方財政対策において、前年度を上回る規模で一般財源総額を確保することができました。

また、近年は、度重なる集中豪雨や台風被害、地震災害など、全国各地で大きな自然災害に見舞われており、東日本大震災をはじめ、被災自治体への視察や、被災自治体の皆様方との意見交換等を通じて、復旧・復興に向けた活動を展開することができました。

地方議会の課題に関しては、議員のなり手不足や投票率の低下が続く中、先の統一地方選挙に向けて、地方自治法の改正により、地方議会の役割及び議員の職務の明確化などを実現することができました。これもひとえに、地元選出国會議員に対する精力的な要望活動をはじめ、多大なるご協力を賜りました皆様方のお陰と厚く感謝を申し上げます。

坊新会長におかれましては、引き続き、地方自治及び地方議会が直面する課題に全力を挙げて取り組んでいただきますよう、ご期待申し上げます。

最後に、皆様方のご厚誼に重ねて感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝と、各市のますますのご発展をご祈念申し上げ、会長退任のご挨拶といたします。

2年間、誠にありがとうございました。

正副議長・議員

永年勤続表彰

新会長選任ののち、坊会長が勤続4年以上の正副議長、在職10年以上の議員の市政振興への功績を称え、表彰状を贈呈した。

授与式では、三田敏秋

村上市議会議長、弥吉治一郎筑後市議会議長がそれぞれ正副議長・議員表彰者の代表として表

彰状を受領。表彰者代表としてあいさつした三田議長は感謝の意を表

し、昨年の豪雨被害への支援に謝意を示した上で「地方自治体や行政に関わる私どもの役割はより一層重要になって

いる。さらなる市民福祉の充実のため邁進する所存」と述べた。

※正副議長表彰者（4年以上）及び議員表彰者（30年以上の特別表彰者）は8～9面

市議会への参画促進▽ポストコロナを展望した地方行政の充実▽感染拡大防止と社会経済活動の両立▽頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等▽東日本大震災からの復旧・復興に関する決議5件を上げ、い

各議案を可決

前役員へ感謝状

会議では、一般事務報告、令和3年度各会計決算及び5年度各会計予算などの会計報告ののち、

本会に設置されている8委員会が活動経過と要望活動結果を報告し、これを了承した（10～11面）。

議案審議では、まず、部会提出議案27件を上程。いずれも原案の通り可決した（件名、区分、説明市議長写真は13面）。

続いて、会長提出議案として、▽多様な人材の

議案審議では、まず、部会提出議案27件を上程。いずれも原案の通り可決した（件名、区分、説明市議長写真は13面）。続いて、会長提出議案として、▽多様な人材の

議案審議では、まず、部会提出議案27件を上程。いずれも原案の通り可決した（件名、区分、説明市議長写真は13面）。続いて、会長提出議案として、▽多様な人材の

新役員で5年度活動始動

副会長・監事・部会長

第99回定期総会では副会長などの役員改選が行われ、坊会長の下、新たな顔ぶれで令和5年度の活動が始動した。

会則に基づき、定期総 事3人を選任。

会に先立って開催された 続いて、部会長9人、役員選考委員会での結果 理事51人、評議員155人を受けて副会長6人、監 人、各委員会委員(地方

副会長



大津副会長
(水戸市)



大峯副会長
(いわき市)



畑中副会長
(鉧路市)



白石副会長
(高松市)



西田副会長
(養父市)



南澤副会長
(桑名市)



比嘉監事
(うるま市)



荒井監事
(境港市)



今井監事
(岡谷市)

監事



金厚北信越部会長
(富山市)



赤間東北部会長
(仙台市)



福居北海道部会長
(旭川市)

部会長



見本近畿部会長
(阪南市)



山本東海部会長
(松阪市)



須永関東部会長
(熊谷市)



每熊九州部会長
(長崎市)



渡部四国部会長
(松山市)



田口中国部会長
(岡山市)

行政・地方財政・社会文 相談役は、前会長・教・産業経済・建設運輸各 元会長の議員現職者 28人、国会对策9人)を 及び会長市である神 戸市を除く政令指定 委員会は15面掲載の各委 都市の議長に委嘱し 員会合同会議で選任)。 た。

役員改選の結果は 以下の通り(個人名 は副会長・監事・部会 長を掲載。いずれも 敬称略)。

新 役 員 一 覧

【副会長】 6人、赤間次彦(仙台市)、金

畑中優周(鉧路市)、 厚有豊(富山市)、須永

大峯英之(いわき市)、 宣延(熊谷市)、山本芳

大津亮一(水戸市)、南 敬(松阪市)、見本栄次(阪

澤幸美(桑名市)、西田 南市)、田口裕士(岡山

雄一(養父市)、白石義 市)、渡部克彦(松山市)、

人(高松市) 每熊政直(長崎市)

【監事】 3人

今井康善(岡谷市)、 荒井秀行(境港市)、比

嘉直人(うるま市) 福居ひでお(旭川市)、

【部会長】 9人

【評議員】 155人

【各委員会委員】 182人

【相談役】 23人

〔祝辞〕内閣総理大臣

岸田文雄氏

市議会議長の皆様方にと存じます。

は、日頃から、地域社会の発展、また住民の福祉の向上にご尽力されていることに、改めて敬意と感謝を表し申し上げたい

戦いに全力で取り組んでいた改めて心から感謝申し上げます。引き続き、万全の備えをしながら、皆様方とともに社会の活性化、そして経済再生に向けて取り組んでいきたいと考えております。

を設けました。引き続き、各市において、国民の皆様がいち早く支援をお届けいただくようお願い申し上げます。

3つの基本理念に基づく抜本的な政策の強化を打ち出しました。

関係する誤り事案を重く受け止める必要があります。カードの信頼確保に向け、事案に関するすべてのデータやシステムを再点検するなど、万全の対策を迅速かつ徹底して講じてまいります。各市においても国と連携して必要な対策にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

喫緊の課題である物価高騰対策については、本年1月から実施中の電気代・ガス代の負担軽減などとともに、本年3月には、コロナ物価予備費を使用し、生活者・事業者支援のための1.2兆円の地方交付金、そして低所得子育て世帯への児童当り5万円の給付金など

さらに、新しい資本主義の下、力強い成果が出現している賃上げと人への投資、民間投資の増加の流れを加速することで、安定的な経済成長の実現に取り組んでまいります。

骨太の方針においては、少子化対策の抜本強化のほか、デジタル田園都市国家構想による地域の活性化など、我が国を再び力強い成長軌道に乗せる経済財政運営を展開するための方向性を明らかにしてまいります。

なお、先ほど清水会長からもご紹介がありましたが、議長の皆様方からご提案いただいていた、地方議会の位置づけ等の明確化については、本年4月、改正地方自治法が成立いたしました。

心よりお悔やみと、そしてお見舞いを申し上げます。

政府として、地方自治体と緊密に連携し、被害からの早急な復旧に努めてまいります。

そして、若者・子育て世代の所得を伸ばしながら、併せて少子化対策にスピード感をもって取り組んでまいります。少子化対策については、先般お示しいたしましたことも未来戦略方針において、若い世代の所得を増やすこと、社会全体の構造・意識を変えること、全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援すること、この

マイナンバーカードは、地方の皆様方にもご尽力いただき、その累計の申請数が人口の約8割となりました。

今後、地方議会の活性化策が各地域で展開されることを期待しております。引き続き、現下の課題への対応に、議長の皆様方と連携し、政府一丸となって取り組んでまいりますので、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。

第99回全国市議会議長会定期総会



種をはじめ、ウイルスとの



て、若い世代の所得を増やすこと、社会全体の構造・意識を変えること、全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援すること、この

マイナンバーカードは、地方の皆様方にもご尽力いただき、その累計の申請数が人口の約8割となりました。

今後、地方議会の活性化策が各地域で展開されることを期待しております。引き続き、現下の課題への対応に、議長の皆様方と連携し、政府一丸となって取り組んでまいりますので、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。

〔祝辞〕衆議院議長

細田博之氏

全国 47 都道府県の市と東京都の特別区の数合わせて 815 に上り、それぞれが多様な特性を有しております。各議員の皆様は、住民の最も身近な代表として、条例の制定や予算の議決、行政監視を通じて、様々な民意を酌み取り、地域政治に反映させる役割を果たしておられます。議会運営の重責を担われ、地域の発展のために日々尽力されている皆様に、改めて敬意を表します。

今日、人口減少と少子・高齢化などにより地域の経営資源が制約される一方、感染症への対応やデジタルトランスフォーメーションの推進も相まって、地域社会の課題は多様で高度なものとなっております。

そのような中で持続可能な豊かな社会を実現していくためには、様々なニーズを踏まえた地域での合意形成が欠かせません。各議長の皆様におかれましては、引き続き、公正で中立な議会運営に努められ、地域の実情に即した魅力あふれるまちづくりを手腕を発揮されることを期待いたします。



今通常国会では、地方議会の活性化と運営の合理化を

図るため、議会の役割及び議員の職務等を明確化するとともに、請願書や意見書のオンラインによる提出を可能とする改正地方自治法や、地方からの提案を踏まえて、地方公共団体に対する義務づけ・枠づけの見直しを行うこととする第 13 次地方分権一括法が成立いたしました。

衆議院では、引き続き、関係委員会等において議論や調査を重ね、市議会議員をはじめとした地域の方々がそのお力をいかんなく発揮できるよう、制度の整備や拡充に取り組んでまいりまう積極的なご提言をいただければと思います。

〔祝辞〕総務大臣

松本剛明氏

皆様方におかれましては、日頃より地方自治発展のためにご尽力いただいていることに、深く敬意を表します。

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発しており、5 月上旬の能登半島での地震に続き、先般の大雨により多くの被害が発生いたしました。お亡くなりになられた方に哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての皆様に対し、心よりお見舞



い申し上げます。総務省では、被害状況などを踏まえながら、被災自治体の財政運営に支障が生じないよう適切に対応してまいります。

新型コロナウイルスにつきましては、インフルエンザと同じ 5 類感染症に移行されました。総務省では、新型コロナウイルス対応に関して、地方公共団体との連携を推進してまいりましたが、皆様の御尽力に改めて御礼申し上げます。

地方議会の在り方につきましては、地方制度調査会の答申を踏まえ、今国会において、地方自治法の一部を改正する法律案を提出し、去る 4 月 26 日に可決・成立いたしました。今後、議会の役割や議員の職務等の重要性が改めて認識され、各議会における取組と相まって、多様な人材の議会への参画に資することを期待いたしております。総務省としても、引き続き、皆様と連携しつつ、必要な取組を行ってまいります。

人口減少、少子・高齢化、DX・GX への対応、SDGs の実現、過疎地域など条件不利地域対策等の課題に地方の皆様が直面する中、これらに的確に対応し、全国どこでも活力ある多様な地域社会を実現するには、持続可能な地方行政財政基盤の確立が重要でございます。このため、社会変容の先駆的な原動力となり得る DX を自治体の行政改革や地域社会の課題解決に取り込み、地域の DX を強力に推進いたします。

地域の DX の推進を支えるデジタル人材の確保・育成については、今年度より新たな地方財政措置の創設など取組を大幅に拡充しており、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

マイナンバーカード関

連の一連の誤り事案について、誠に遺憾であり、総務省としても、事業者に直接原因や再発防止策について確認するなど、対応に取り組んできたところです。マイナンバーカードの信頼確保に向けて、国と地方で連携して

対応してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。カードの交付については、皆様のご尽力により着実に進んでおり、累計の申請数が人口の約8割、交付枚数は約7割となりました。今般、郵便

局事務取扱法を改正し、議会の議決を経て、市町村が指定する郵便局において、カードの交付申請受付に関する事務を行えるようになりましたので、郵便局への事務委託の積極的な検討をお願いいたします。

令和5年度地方財政計画では、一般財源総額、画では、一般財源総額、

地方交付税総額のいずれも前年度を上回る額を確保し、臨時財政対策債の発行額を前年度から抑制し、残高を縮減しております。今後も、必要な一般財源総額をしっかりと確保していくとともに、当面の重要課題である子ども・子育て政策の強化についても、関係省庁と

〔祝辞〕参議院議長 メッセージ

尾辻秀久氏



地方議会の役割・議員の職務の明確化を行い、地方議会を活性化するための地方自治法改正案が成立いたしております。

議員数の減少や議会に

地域にお住まいの皆さんからの要望や自治体ごとの課題が多様化・複雑化している中で、住民の声を市政に届け、広い見地から地域社会の在り方を議論するという市議会の役割はより重要となっています。

今国会におきましては、

〔祝辞〕

デジタル田園都市国家構想
地方創生担当大臣

メッセージ

岡田直樹氏



魅力向上を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて取組を進めているところです。

こうした中、地方の皆

人口減少や少子・高齢化が進む中、地方は様々な社会課題に直面しており、政府としては、デジタルの力を活用して、これまでの地方創生を加速化・深化させるとともに、地方の社会課題の解決や

デジタル田園都市国家構想交付金を創設し、地方のデジタル実装を着実に進めております。

今後は、この総合戦略

に基づく施策を着実に実行していくとともに、施策を深化させていくことが重要です。

このたび、総合戦略からさらに深化・具体化を図るべき施策や新規施策について整理した「当面の重点検討課題」を取りまとめたところであり、政府内でさらなる検討を進め、年末に改訂を行う総合戦略に位置づけ、その実現を図ってまいりたいと考えております。

また、地方への人の流れの創出や拡大に向け、ローカルスタートアップ

の継続強化や、これまでの成果等に関する国内外への発信強化を行い、構想実現に向けた機運のさらなる醸成と、優良な事例の横展開を図ってまいります。

今後とも、地方の思いを大切にし、地方創生に取り組む幅広い関係者の声に耳を傾け、時代の変化を捉えながら、活力ある地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、市議会議長の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力のほどお願いいたします。

津々浦々で力強く進めていくため、デジタル甲子園

支援制度や地域おこし協力隊等の取組を推進するとともに、緊急消防援助隊、常備消防の充実強化、消防団員の確保等、地域防災力の向上を図ります。

4 年以上
30 年以上
正副議長
表彰一覧

正副議長表彰者
(4年以上)と議員
30年以上(特別表
彰者)を掲載
(敬称略)

正副議長表彰

164人(うち正副議長
勤続8年以上の特別表彰
13人)

【特別表彰】

▼12年以上(2人)

▼三田敏秋(村上市)▼

中西省三(直方市)

▼8年以上(11人)

▼小野敏雄(留萌市)▼

佐藤靖(名寄市)▼水島

美喜子(砂川市)▼川野

敏夫(歌志内市)▼磯邊

勇司(五所川原市)▼本

多勝実(二本松市)▼今

竹大祐(高砂市)▼東川

勇夫(大和郡山市)▼結

城弘明(古賀市)▼安田

康則(荒尾市)▼坂本武

人(合志市)

【一般表彰】

▼4年以上(151人)

▼松永征明(釧路市)▼

有城正憲(帯広市)▼篠

原藤雄(岩見沢市)▼石

黒武美(岩見沢市)▼珍

田亮子(留萌市)▼横澤

島市)▼森井洋光(珠洲
市)▼稲垣清也(加賀市)
▼中村義彦(野々市市)
▼古屋信二(坂井市)▼
飯島進(伊那市)▼土屋
美恵子(武蔵野市)▼村
崎啓二(府中市)▼皆川
りうこ(国分寺市)▼青
木健(国立市)▼清水義
朋(福生市)▼橋本由美
子(多摩市)▼渡邊力(稲
城市)▼桜井ただし(千
代田区)▼中島賢治(中
央区)▼本多健信(品川
区)▼福本光浩(江戸川
区)▼前川綾子(鎌倉市)
▼草間道治(三浦市)▼

八島満雄(伊勢原市)▼
川又照雄(常陸太田市)
▼石原幸雄(牛久市)▼
篠塚洋三(鹿嶋市)▼小
森敬太郎(常陸大宮市)
▼岡崎勉(かずみがうら
市)▼小高友徳(桜川市)
▼福田洋一(小山市)▼
松田寛人(那須塩原市)
▼北川久人(桐生市)▼
岡部純朗(桐生市)▼野
村晴三(館林市)▼吉岡
完司(安中市)▼今井敏
博(安中市)▼太田博希
(狭山市)▼伊藤治(越
谷市)▼鈴木潔(志木市)
▼柿沼繁男(久喜市)▼
森崎成喜(日
高市)▼江原
浩之(白岡
市)▼地下誠
幸(銚子市)
▼森亮二(流
山市)▼泉川
山(市)▼鎌ヶ谷
市)▼佐藤麗
子(袖ヶ浦
市)▼岩田典
之(白井市)
▼穴倉弘康
(山武市)▼
能勢秋吉(山



正副議長表彰で代表受領する三田村上市議会議長

武市)▼横山正樹(いす
み市)▼大石節雄(島田
市)▼竹内祐子(湖西市)
▼林克巳(春日井市)▼
早川高光(大府市)▼鈴
木勝彦(高浜市)▼三浦
桂司(豊明市)▼森下田
嘉治(田原市)▼伊藤嘉
規(あま市)▼長屋和伸
(関市)▼水野哲男(土
岐市)▼美谷添生(郡上
市)▼丸谷正八郎(泉大
津市)▼桂聖(河内長野
市)▼清水明治(高石市)
▼野口陽輔(交野市)▼
高橋正樹(福知山市)▼
三宅浩二(宝塚市)▼岡
嶋正昭(小野市)▼太田
喜一郎(丹波市)▼山本
裕樹(宇陀市)▼小林弘
(橋本市)▼福山晴美(岩
出市)▼岩崎康朗(米子
市)▼伊藤正三(倉吉市)
▼立脇通也(松江市)▼
萬代輝正(出雲市)▼津
本辰己(津山市)▼高原
良一(玉野市)▼大滝文
則(井原市)▼宮田公人
(高梁市)▼石田實(新
見市)▼廣田均(瀬戸内
市)▼佐々木雄三(廿日
市市)▼亀田博(下関市)
▼入江幸江(山口市)▼
壽賀崎久(善通寺市)▼
松原壮典(さぬき市)▼
渡部繁夫(東温市)▼亀
井賢夫(室戸市)▼松田
昇(直方市)▼角田恵一
(八女市)▼中島信二(八
女市)▼辻本美恵子(筑
紫野市)▼松尾徳晴(春
日市)▼山上高昭(大野
城市)▼田中英輔(古賀
市)▼江上隆行(福津市)
▼米山信(福津市)▼松
田義太(鹿島市)▼坂本
繁憲(伊万里市)▼盛泰
子(伊万里市)▼西信八
郎(人吉市)▼大塚則男
(人吉市)▼濱崎英利(荒
尾市)▼中口俊宏(宇土
市)▼湯淺正司(阿蘇市)
▼河崎徳雄(阿蘇市)▼
石橋邦彦(日田市)▼坂
本盛男(日田市)▼大谷
和義(国東市)▼前田幸
雄(日南市)▼中武邦美
(西都市)▼野畑直(阿
久根市)▼瑞慶山良一郎
(沖縄市)▼比嘉拓也(名
護市)▼外間剛(豊見城
市)▼幸地政和(うるま
市)▼名嘉真宜徳(うる
ま市)▼玉城健(南城市)

議員表彰

1775人(うち勤続20年以上の特別表彰1109人)

【特別表彰】

▼50年以上(2人)

▼新井貞夫(草加市)▼

佐々木豊治(我孫子市)

▼45年以上(9人)

▼浅野俊二(羽咋市)▼

林順藏(坂東市)▼安井

俊彦(神戸市)▼遊田直

秋(大和郡山市)▼木島

丘(広島市)▼弥吉治一

郎(筑後市)▼中村直人

(鳥栖市)▼狩野保夫(西

都市)▼福田清宏(いち

き串木野市)

▼40年以上(48人)

▼武市憲一(札幌市)▼

福島恭二(函館市)▼杉

山允孝(旭川市)▼佐藤

潤(室蘭市)▼松井邦男

(芦別市)▼坂本美洋(八

戸市)▼佐々木肇(むつ

市)▼曾我ミヨ(塩竈

市)▼三浦秀雄(由利本

荘市)▼山村明(米沢市)

▼檜村弘(いわき市)▼

折戸小夜子(多摩区)▼

押田まり子(中央区)▼

白岩忠夫(江東区)▼太

田哲一(杉並区)▼瀬端

勇(江戸川区)▼田野井

一雄(横浜市)▼松本春

男(綾瀬市)▼久松猛(土

浦市)▼中村安雄(常総

市)▼福永洋(千葉市)

▼かいづ勉(市川市)▼

宮内一夫(習志野市)▼

伊東幹雄(八千代市)▼

岡寛(犬山市)▼南靖久

(尾鷲市)▼山下慶喜(茨

木市)▼松尾巧(大阪狭

山市)▼富きくお(京都

市)▼浅井厚徳(宇治市)

▼前島浩一(神戸市)▼

竹中隆一(姫路市)▼松

木義昭(芦屋市)▼新内

竜一郎(伊丹市)▼藤本

幸作(三木市)▼大眉均

(三木市)▼大谷龍雄(五

條市)▼楠木忠司(岡山

市)▼碓井法明(広島市)

▼檀上正光(尾道市)▼

仁ノ岡範之(三原市)▼

大浦澄子(高松市)▼上

田博之(善通寺市)▼奥

村修計(長崎市)▼市岡

博道(佐世保市)▼徳留

八郎(都城市)▼前之園

正和(指宿市)▼諏訪昌

一(南さつま市)

▼35年以上(44人)

▼小野沢猛史(函館市)

▼野月一博(十和田市)

▼日下七郎(角田市)▼

吉田瑞生(多賀城市)▼

沼田健一(岩沼市)▼佐

藤勝(大崎市)▼伊藤和

子(天童市)▼佐藤明(南

陽市)▼殿岡和郎(南陽

市)▼金子益夫(新潟市)

▼新保峰孝(糸魚川市)

▼菅原義信(鯖江市)▼

野々村博美(長野市)▼

遠藤源太郎(西東京市)

▼阿蘇佳一(秦野市)▼

大波修二(大和市)▼平

井誠(下妻市)▼岡田修

一(前橋市)▼一関和一

(蔵市)▼石原茂(朝霞

市)▼岩井清郎(市川市)

▼宇都宮高明(成田市)

▼平川博文(習志野市)

▼日暮榮治(柏市)▼北

島定(浜松市)▼川口和

雄(津市)▼浅川健造(東

大阪市)▼岩爲俊(高槻

市)▼山田千枝子(向日

市)▼飛鳥井佳子(向日

市)▼西川仁(草津市)

▼草加智清(西宮市)▼

井上芳弘(加西市)▼中

島好人(山陽小野田市)

▼福田佐和子(南国市)

▼今西忠良(南国市)▼

児島市)

▼30年以上(59人)

▼庄子春治(盛岡市)▼

高橋孝二(北上市)▼山

崎長栄(釜石市)▼米田

誠(三戸市)▼佐藤勇(栗

原市)▼安田健次郎(男

鹿市)▼石井敏郎(いわ

き市)▼橋爪法一(上越

市)▼宮村幸男(新発田

市)▼表靖二(小松市)

▼吉野和之(三鷹市)▼

渡辺大三(小金井市)▼

青木健(国立市)▼橋本

由美子(多摩市)▼小枝

すみ子(千代田区)▼島

村和成(江戸川区)▼佐

藤茂(横浜市)▼吉岡和

江(鎌倉市)▼豊田海洋

(北茨城市)▼塩田尚(つ

くば市)▼村尾光子(下

野市)▼横山勝彦(前橋

市)▼金井久男(安中市)

▼金子敏江(飯能市)▼

花井伸子(戸田市)▼野

本一幸(朝霞市)▼天田

いづみ(志木市)▼笠原

進(新座市)▼齋藤詔治

(吉川市)▼常泉健一(茂

原市)▼柏崎のり子(富

里市)▼安竹信男(静岡

市)▼岡本善博(名古屋

市)▼岡田正昭(大垣市)

▼美谷添生(郡上市)▼

原重樹(和泉市)▼檜本

利明(橿原市)▼福田讓

(新宮市)▼秋田安幸(倉

敷市)▼大橋賢(倉敷市)

▼齋藤武次郎(倉敷市)

▼森守(倉敷市)▼福木

京子(赤磐市)▼新田賢

慈(尾道市)▼田中健次

(防府市)▼近藤康夫(下

松市)▼出口憲二郎(小

松島市)▼世良俊明(北

九州市)▼栗原伸夫(久

留米市)▼井上太一(中

間市)▼松崎正和(大野

城市)▼嘉村弘和(佐賀

市)▼長野孝道(佐世保

市)▼秦野恭義(大分市)

▼長田教雄(大分市)▼

日小田良二(大分市)▼

福岡健治(大分市)▼徳

峰一成(曾於市)▼儀間

盛昭(豊見城市)

お知らせ

次号の旬報は、7月15日付の2233・4号合併号として発行します。

令和 4 年度 各委員会活動報告

地方行政委員会

委員 細川博史 土佐清水市議長



「多様な人材の市議会への参画促進に関する決議」の実現に向けて要望を展開した。

その結果、昨年12月の臨時国会において、議員立法により提出された地方自治法の改正法が成立し、「議員個人によ

る請負に関する規制の緩和」や「災害等の場合の開会日の変更」に関する規定が整備された。

また、地方議会のあり方について審議していた第33次地方制度調査会の答申が昨年末、岸田総理に提出され、その答申を踏まえた地方自治法の改正法が今通常国会で成立し、焦点だった地方議会の役割と議員の職務の明確化が実現した。

地方財政委員会

委員長 阿部銀次郎 三条市議長



地方税、地方交付税等一般財源総額の確保・充実、臨時財政対策債の縮減、商業地に係る固定資産税の上昇額を半減する負担調整措置の令和4年度限りの終了を求めた。

地方の一般財源総額は、交付団体べー

スで前年度を0.2兆円上回る62.2兆円が確保された。また、地方税が過去最高の42.9兆円となると見込まれる中、地方交付税総額は前年度を0.3兆円上回る18.4兆円が確保された。臨時財政対策債は大幅に抑制され、制度開始以来最低となった。商業地に係る固定資産税は、4年度をもって特例的な措置は終了し、5年度は、既定の措置が適用された。

社会文教委員会

副委員長 篠原和代 観音寺市議長



地域医療施策では、引き続き地域医療構想の実現に向けて、医療従事者等の確保・養成に必要な事業などについて地域医療介護総合確保基金により支援が行われる。

少子化対策では、「出産育児一時金」の大幅な増額が本年

4月から実現した。また、こども・子育て政策に関しては、「こども家庭庁」が発足し、骨太方針2023では将来的なこども予算倍増に向けた大枠が示された。

文教施策では、1人1台端末活用の日常化を全国の学校に浸透させていくために、GIGAスクール運営支援センターの機能強化が図られたほか、教師の負担軽減を図る教員業務支援員等の配置の充実が図られた。

産業経済委員会

副委員長 堀部 壽 北秋田市議長



新型コロナウイルスや物価高騰などにより影響を受けた農林漁業や中小企業に対し、令和4年度第2次補正予算において、資金繰り支援などが講じられている。

農林水産業では、国内消費が減少する中、昨年、農林水産物・食品の輸出

が1.4兆円を突破し、2030年までに輸出額5兆円という目標の実現に向け、支援が図られる。

また、中小企業に対しては、物価高の中で適正に価格転嫁できるための対策や次世代への事業承継支援が強化される。

そして、資源・エネルギー対策では、地域と共生可能な脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの最大の導入促進が進められる。

建設運輸委員会

委員長 中村直哉 南城市議長



頻発・激甚化する自然災害に対し、防災・減災、国土強靱化の取組が「5か年加速化対策」により、引き続き推進される。交通基盤整備では、地域公共交通再構築事業が創設され、鉄道・バスに係る先進車両の導入支援など、公共交通の確保・維持に向けた取組が行われる。都市基盤整備では、下水道などの老朽化に対して、計画的な維持管理を実施するため、予防保全への転換が推進される。観光施策では、新型コロナウイルスからの回復に向けて、地域に根差した観光資源の磨き上げや宿泊施設の改修などにより、観光地の付加価値を高め、地方への誘客や消費拡大が促進される。

国と地方の協議の場等に関する特別委員会

副委員長 小川正人 白石市議長



本委員会は、国と地方の協議の場等に対する本会の意見調整を行うために設置されている。昨年11月の第25回委員会では、「国と地方の協議の場」への本会の対応として、全国の地方自治体が重要かつ喫緊の課題に対応するため、地方税・地方交付税等の一般財源総額の充実確保などを決定。また、地方創生のさらなる推進や新型コロナウイルス感染症対策、多様な人材の市議会への参画促進等を強く求めていくことを決定した。昨年12月20日の「令和4年度第3回国と地方の協議の場」では、清水会長から、政府に本会の要望を伝え、ご協議いただいた。

国会対策委員会

委員 梶田和美 大洲市議長



本会の重点要望の実現に向け、部会選出委員、政府・与党要職者の地元選出区を考慮して清水会長が委嘱した委員で活動した。昨年11月21日に委員会を開催し、自由民主党の茂木敏充幹事長、萩生田光一政務調査会長、田中徳税制調査会副会長、田所嘉徳前総務部会長等に対し、本会重点要望の「多様な人材の市議会への参画促進」、「ポストコロナを展望した地方行財政の充実」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等」、「東日本大震災からの復旧・復興」の実現のため強力に要望活動を行った。

令和4年度

海洋プラスチックごみ問題に関する特別委員会

委員長 大川裕 小田原市議長



本委員会は、海洋プラスチックをはじめとするプラスチック使用製品に係る拡大生産者責任の強化・明確化及び海洋プラスチックごみ対策への支援の拡充等を求める要望と、今後国及び地方自治体等において、必要と考える取組についての提言を取りまとめ、関係方面に対する働きかけを行った。

地方部会提出27件 会長提出5件

議案32件を可決

総会では、部会提出議案27件(13面)、会長提出議案5件の計32件の議案を可決した。会長提出議案5件は、いずれの議案も昨年11月の理事会・評議員会合同会議で決定された決議を基に、その後の情勢変化等を考慮し、見直しのうえ上程された。

会長提出決議の概要は、次のとおり。

第99回定期総会 会長提出決議

1	多様な人材の市議会への参画促進に関する決議
2	ポストコロナを展望した地方行財政の充実に関する決議
3	感染拡大防止と社会経済活動の両立に関する決議
4	頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等に関する決議
5	東日本大震災からの復旧・復興に関する決議

決議全文は、本会ウェブサイトに掲載

◆会長提出決議1◆

同決議は、▽多様な人材の市議会への参画を促す環境整備▽地方議会の権能強化―の2本の柱で構成。本会が長年にわた

り求めていた地方自治法の議会関連の規定が改正され、地方議会の役割、議員の職務の明確化について所要の規定が設けられたため、国に対して明確化の趣旨を十分周知するように求めている。また、地方議員の兼業・請負禁止要件の緩和と災害等の場合における議会の招集日の変更についても、既に地方自治法で手当てがなされたため、いずれも今回の決議からは削除した。

このほか、会社員が立候補しやすい環境の整備、選挙制度の見直しなどを求めている。

◆会長提出決議2◆

同決議は、▽地方税財源の充実強化▽地方創生

の推進▽地方分権の推進▽デジタル社会の実現▽その他―の5本から構成。地方税財源の充実強化では、地方税の充実確保の観点から、令和6年度に評価替えを控えている固定資産税について強調している。

◆会長提出決議3◆

同決議は、▽感染拡大防止等▽医療提供体制等の強化▽経済対策等―の3本の柱で構成されている。

感染拡大防止等及び医療提供体制等の強化については、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の位置付けが「新型コロナウイルス等感染症(2類相当)」から「5類感染症」に移行されたことを踏まえ、従前のコロナウイルス感染症対策に関する決議から感染拡大防止と社会経済活動の両立に関する決議に名称変更している。

また、政府が炭素税を創設・拡充する場合には、その税収の一部を地方に税源配分するよう地球温暖化対策の項目を立てて要望していたが、令和5年度の税制改正及び予算編成の過程で、産業界が反対していた経緯もあり、炭素税は見送られ、カーボンプライシングという

経済対策等については、今後は地域経済の本格的な再生が重要との観点から、当面の物価高騰対策に加え、企業収益力の向上、職業能力の再開発、持続的な賃上げ、非正規雇用の正規化など、投資・雇用・所得のあらゆる面で強力な対策を講じるよう新たに求めている。

◆会長提出決議5◆

同決議は、基本的に被災地である東北部会から提出された部会提出議案第1号及び第2号を踏まえて作成されており、▽東日本大震災からの早期復旧・復興▽原子力発電所事故災害への対応―の2本の柱としている。

◆会長提出決議4◆

同決議は、▽台風・集中豪雨・豪雪対策等の充実強化▽土石流対策の強化▽地震・津波・火山噴火対策等の充実強化▽防災・安全に資する社会資本整備事業への支援―など9本の柱で構成されている。

土石流対策の強化では、昨年、宅地造成及び特定盛土等規制法が改正、施行され、盛土等について全国統一の基準・規制が設けられ、地方自治体に新たな事務や経費の増加が見込まれることから、負担軽減に向けた制度設計や財政的・技術的支援を講じるよう求めている。

そのほか、放射性物質対策事業の推進、原子力損害賠償の適正な実施、原子力災害に係る各種施策や中長期的な対応について、被災地の要望を盛り込んだ内容となっている。

第99回定期総会提出議案・議案説明者(上程順)

部会提出議案

区分	議案番号	件名	提出部会
震災防災	1	東日本大震災からの復旧・復興について	東北
	2	原子力発電所事故災害について	東北
	3	南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に対する高台造成に関する支援制度の創設について	四国
地方行財政	4	北方領土問題の早期解決等について	北海道
	5	日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減について	九州
	6	公共施設等適正管理推進事業(除却事業)の財政支援の拡充について	関東
社会文教	7	脱炭素社会の実現に向けた支援について	東海
	8	給食費の無償化について	中国
	9	学校給食費の無償化について	四国
	10	教職員における労働環境の改善について	関東
	11	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立について	北信越
	12	児童生徒への教育支援の充実について	東海
産業経済	13	特定教育・保育施設等における職員配置基準の見直しについて	四国
	14	義務教育段階における教育環境の改善及び充実について	九州
	15	病児保育事業に対する支援拡充等について	関東
	16	小児科医および産科医の確保について	近畿
	17	带状疱疹ワクチンの定期接種化について	東海
	18	水道施設更新・改良に関する国庫補助制度等の拡充と創設について	近畿
建設運輸	19	北海道の道路整備について	北海道
	20	道路交通網の整備促進について	東北
	21	日本海沿岸東北自動車道の整備促進について	北信越
	22	高速道路ネットワークの早期整備等について	中国
	23	米子・境港間を結ぶ高規格道路の整備について	中国
	24	九州における高速交通網等の整備促進について	九州
	25	北海道新幹線の建設促進について	北海道
	26	北陸新幹線の早期完成等について	北信越
	27	地域鉄道(近江鉄道線)存続にかかる税制上の特例措置について	近畿

3号議案



西村泰一須崎市議長

2号議案



清川雅史会津若松市議長

1号議案



小川正人白石市議長

6号議案



大橋康則結城市議長

5号議案



上地廣敏宮古島市議長

4号議案



田塚不二男根室市議長

9号議案



笠井一司阿波市議長

8号議案



廣田均瀬戸内市議長

7号議案



近藤喜典豊橋市議長

12号議案



石田江利子焼津市議長

11号議案



上條温松本市議長

10号議案



林隆文八千代市議長

15号議案



小倉隆夫大和市議長

14号議案



渡孝二古賀市議長

13号議案



三宅真弓丸亀市議長

18号議案



戸田正人和歌山市議長

17号議案



伊藤誠海津市議長

16号議案



筈井昌彦守山市議長

21号議案



小野徳重胎内市議長

20号議案



安井和則能代市議長

19号議案



横山明美帯広市議長

24号議案



中島正之小城市議長

23号議案



荒井秀行境港市議長

22号議案



河野利文益田市議長

27号議案



大橋保治東近江市議長

26号議案



高誠金沢市議長

25号議案



飯島弘之札幌市議長

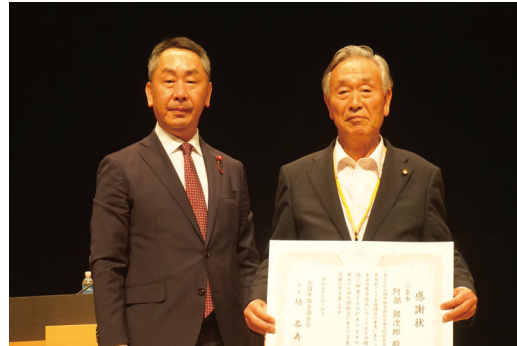
前役員 526人 感謝状を贈呈



清水前会長（横浜市）



田塚前北海道部会長（根室市）



阿部前地方財政委員長（三条市）

閉会式では、相談役を代表して清水富雄前会長（横浜市）が、前役員に感謝状を贈呈。前正副部会長・前理事・前評議員を代表して田塚不二男前北海道部会長（根室市）が、各委員会の前委員を代表して阿部銀次郎前地方財政委員長（三条市）がそれぞれ感謝状を受領。前役員を代表して、清水前会長からあいさつがあった。

4 年度決算を認定

共済会代議員会

た。

あいさつする坊会長
（神戸市）

市議会議員共済会は 6 月 15 日、第 126 回代議員会を都内で開催し、4 年度決算について認定し

た。新会長には、定款の定めにより全国市議会議長会会長の坊恭寿神戸市会議長が就任。役員改選で副会長、理事、監事を選任した（下掲）。

代議員会では、令和 4 年度会計決算について審議。笹内和志監事（高槻市議会議長）から監査結果報告があり、給付経理及び業務経理のほか、共済給付金の決定及び支給等については、法令及び定款の規定に従い適正に処理されている旨報告し、これを認定した。

監査報告する笹内監事
（高槻市）

【新役員（敬称略）】

▽会長 坊 恭寿（神戸市）
▽副会長 田口裕士（岡山市）
▽理事 多比良和伸（砂川市）、奈良岡隆（青森市）、金厚有豊（富山市）、森田正英（清瀬市）、青山義明（蒲郡市）、西山博大（川西市）、加村祐志（徳島市）、長友潤治（都城市）、山本香代子（江東区）
▽監事 徳久研二（安芸市）、伊藤義夫（学識経験者）

給付経理（給付に要する費用）

（単位：千円）

収支の状況

(1) 収入総額	32,334,227
（収入の内訳）	
ア 負担金	32,273,828
イ 利息及び配当金	60,399
(2) 支出総額	32,558,060
（支出の内訳）	
ア 退職年金	21,652,228
イ 退職一時金	402,112
ウ 遺族年金	10,503,720
エ 遺族一時金	0
(3) 収支損益額 ((1)-(2))	△ 223,833

令和 4 年度は収入総額より支出総額が上回ったため、2 億 2,383 万円の当期損失金となった。このため、前年度の剰余金 342 億 4,137 万円を取り崩して、令和 4 年度の給付に要する費用の不足金に補てんした。令和 5 年度に繰り越した給付積立金は 340 億 1,754 万円となった。

業務経理（事務に要する費用）

（単位：千円）

収支の状況

(1) 収入総額	246,653
（収入の内訳）	
ア 事務負担金	246,363
議員一人当たり 13,000 円×議員定数	
イ 利息及び配当金	290
(2) 支出総額	216,325
（主な支出の内訳）	
ア 役員報酬及び職員給与	61,725
イ 旅費及び事務費	45,511
ウ 委託費及び賃借料	85,982
(3) 収支損益額 ((1)-(2))	30,328

令和 4 年度は収入総額が支出総額を上回ったため、3,033 万円の当期利益金となった。このため、前年度の剰余金 4 億 2,788 万円に上乗せした。これにより、令和 5 年度に繰り越した剰余金は 4 億 5,821 万円となった。

各委員会合同会議



各委員会委員長・副委員長一覧

地方行政委員会	
委員長	菊地 忍 (名取市)
副委員長	吉村 浩平 (中津川市)
	山根 巖 (鳴門市)
地方財政委員会	
委員長	岸 正明 (茅ヶ崎市)
副委員長	鈴木 弘睦 (袋井市)
	花牟礼 薫 (鹿屋市)
社会文教委員会	
委員長	上羽 和幸 (舞鶴市)
副委員長	横山 真 (諏訪市)
	神谷 建一 (宗像市)
産業経済委員会	
委員長	細井 英輔 (吉野川市)
副委員長	稲垣 清也 (加賀市)
	吉和 宏 (尾道市)
建設運輸委員会	
委員長	早川 昇三 (室蘭市)
副委員長	茂木 一郎 (深谷市)
	長岡 肇太郎 (萩市)
都市問題に関する特別委員会	
委員長	岡本 純祥 (三原市)
副委員長	燕 昌克 (留萌市)
	島田 玲子 (越谷市)
国と地方の協議の場等に関する特別委員会	
委員長	清水 富雄 (横浜市)
副委員長	北 良晃 (奈良市)
	稲田 清 (米子市)



岸 正明 地方財政委員長
(茅ヶ崎市)



菊地 忍 地方行政委員長
(名取市)



細井 英輔 産業経済委員長
(吉野川市)



上羽 和幸 社会文教委員長
(舞鶴市)



清水 富雄 国と地方特委
委員長 (横浜市)



岡本 純祥 都市問題特委
委員長 (三原市)



早川 昇三 建設運輸委員長
(室蘭市)

定期総会終了後、本会は各委員会合同会議を開催し、5委員会（地方行政・地方財政・社会文教・産業経済・建設運輸）の正副委員長を各部会の推薦に基づき選任した。

また、5委員会の委員長と都市問題に関する特別委員会の委員長は、国と地方の協議の場等に関する特別委員会設置要綱

に基づいて同委員会の委員に就任した。国会対策委員会の正副委員長は、令和5年度最初の委員会で選任される。

抗議声明

本日、北朝鮮は、我が国の排他的経済水域（ＥＥＺ）内に落下したと推定される弾道ミサイルを複数発射した。これまでの弾道ミサイルの度重なる発射も含めた一連の行動は、日本、アジアだけでなく国際社会の平和と安全を脅かす、決して許せない暴挙である。

我が国の国民の生命、身体、財産、領海・領土の安全を脅かし、航行・操業する船舶や漁船、航空機に対し重大な危険を及ぼす行為は断じて容認できない。また、国連における強い制裁措置の決議を無視し、関連する国連安保理決議に反する行為を繰り返す北朝鮮の行動に対し、国民は極めて強い憤りと不安を覚えている。

ここに、我が国の地方自治体を代表して、北朝鮮による弾道ミサイル発射に対して厳重に抗議するとともに、日本及び周辺国の安全を大きく損ない地域の平和・安全を脅かす挑発行為の即刻中止と、拉致被害者の即時帰国を強く求める。

令和5年（2023年）6月15日

地方六団体

全国知事会会長
全国都道府県議会議長会会長職務代理者
全国市長会会長
全国市議会議長会会長
全国町村会会長
全国町村議会議長会会長

治一 清寿臣正
伸 邦秀恭泰
井 井谷 木雲
平 石立坊荒南

本会をはじめとする地方六団体は6月15日、北朝鮮による弾道ミサイル発射に対し、厳重な抗議の意を表するため、会長連名で抗議文を発表した（左掲）。

地方六団体
北朝鮮弾道ミサイルに抗議

第 18 回

全国市議会議長会研究フォーラム

10 月 25^(水) 日 ▶ 10 月 26^(木) 日 西日本総合展示場
新館

大会テーマ
統一地方選挙の検証と地方議会の課題（仮）

本会主催の第18回研究フォーラムが10月25、26の両日、市制60周年を迎えた福岡県北九州市の西日本総合展示場新館で開催されます。

今回の大会テーマは「統一地方選挙の検証と地方議会の課題（仮）」。

パネルディスカッションや事例報告を交えた課題討議を行う予定です。

参加申込など詳細については、追って**本会ウェブサイト**に掲載いたします。

お問合せは企画議事部まで

☎ 03-3262-2303

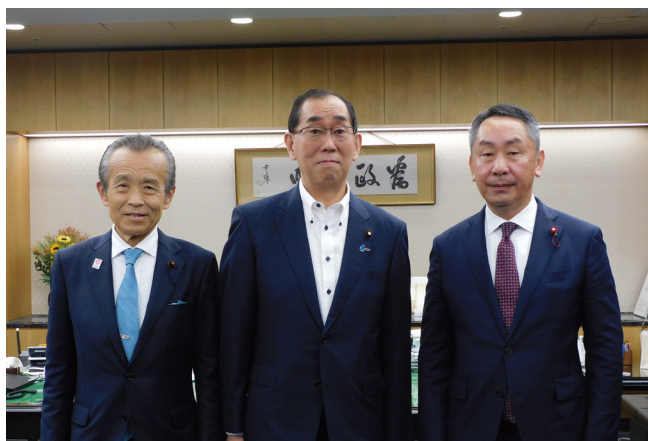
政府 / 与党関係議員を訪問

新旧会長 就退任あいさつ

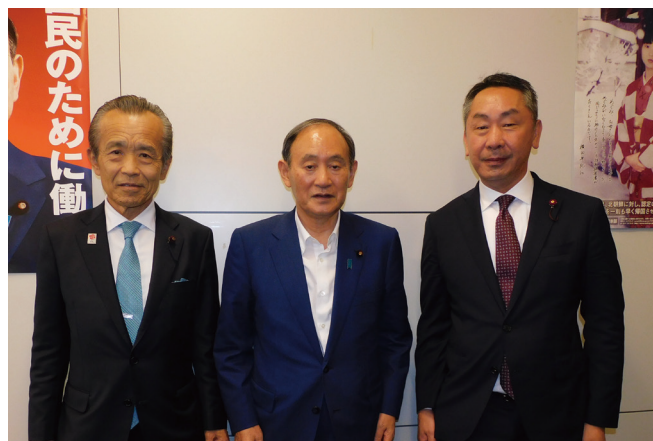
坊恭寿会長、清水富雄前会長は6月15日、政府、与党の関係国会議員を訪ね、会長就退任のあいさつを行った。

【訪問先】

▽松本剛明総務大臣▽岡田直樹デジタル田園都市国家構想・地方創生担当大臣▽菅義偉前内閣総理大臣▽橘慶一郎自由民主党総務部会地方議会課題に関するPT幹事長▽あかま二郎同党同PT事務局



松本総務大臣（中央）



菅前内閣総理大臣（中央）



岡田デジタル田園都市国家構想担当・地方創生担当大臣（中央）



あかま自民党総務部会地方議会PT事務局長（中央）



橘自民党総務部会地方議会PT幹事長（中央）